

2016年度
第44回北海道学生アーチェリー
冬季インドア大会
実施要綱



日時 2017年2月19日

場所 北海道大学第二体育館

主催 北海道学生アーチェリー連盟

大会役員

大会会長	松木 けんこう
大会副会長	伊藤 献一
大会参与	伊藤 献一
大会委員長	辻 友穂
大会副委員長	金子 拓実
大会総務	内山 心夢
審判部	高木 洋旗
大会記録	西本 成輝
大会財務	森明 竜馬
大会技術	内山 心夢
報道写真	氷見谷 馨
資材管理	長谷川 俊介
大会進行	高橋 由也

競技役員

審判長	倉知 敏博
DOS	内山 心夢
競技委員長	高木 洋旗
審判員	競技係員
放送	競技係員
計時	競技係員
記録補助員	記録係員

タイムスケジュール

9 : 15	受付	11 : 45	行射・18m
9 : 30	開会式	13 : 15	昼休み・予備時間
9 : 45	用具検査	14 : 00	男女準々決勝
9 : 50	試射	14 : 30	男女準決勝
10 : 00	行射・18m	15 : 00	男女決勝
		15 : 30	閉会式

式次第

—開会式—

1. 選手整列
2. 開会宣言
3. 国旗連盟旗掲揚
4. 大会会長挨拶
5. 大会委員長挨拶
6. DOS 注意
7. 選手宣誓
8. 選手解散

—閉会式—

1. 選手整列
2. 成績発表
3. 表彰
4. 大会副会長挨拶
5. 大会副委員長挨拶
6. 国旗連盟旗後納
7. 大会講評
8. 閉会宣言
9. 選手解散

競技上の注意！

- ・ 競技は、全日本学生アーチェリー連盟競技規則に従って行う。
- ・ 標的は、縦三つ目的を使用する。
- ・ 選手の受付は、2013年度全日本アーチェリー連盟会員証により行う。
- ・ 18mの距離を行射する。
- ・ 的中孔は、全標的について採用する。
- ・ SL前方に3mラインを設けて、打ち損じ矢の対処をする。

< 18mインドアターゲットラウンド（予選ラウンド） >

- ・ 18mインドアターゲットラウンド（60射）で行う。
- ・ 試射は2分3射を2回行う。
- ・ 試射の立ち順はABC - DEF 矢取り ABC - DEF 矢取りの順序で行う。
- ・ 行射の立ち順はABC - DEF 矢取り DEF - ABC 矢取りの順序で行う。
- ・ 行射は信号機とデジタル時計・ブザー・旗で管理する。
- ・ 決勝ラウンドには、男子16名、女子8名が進出する。

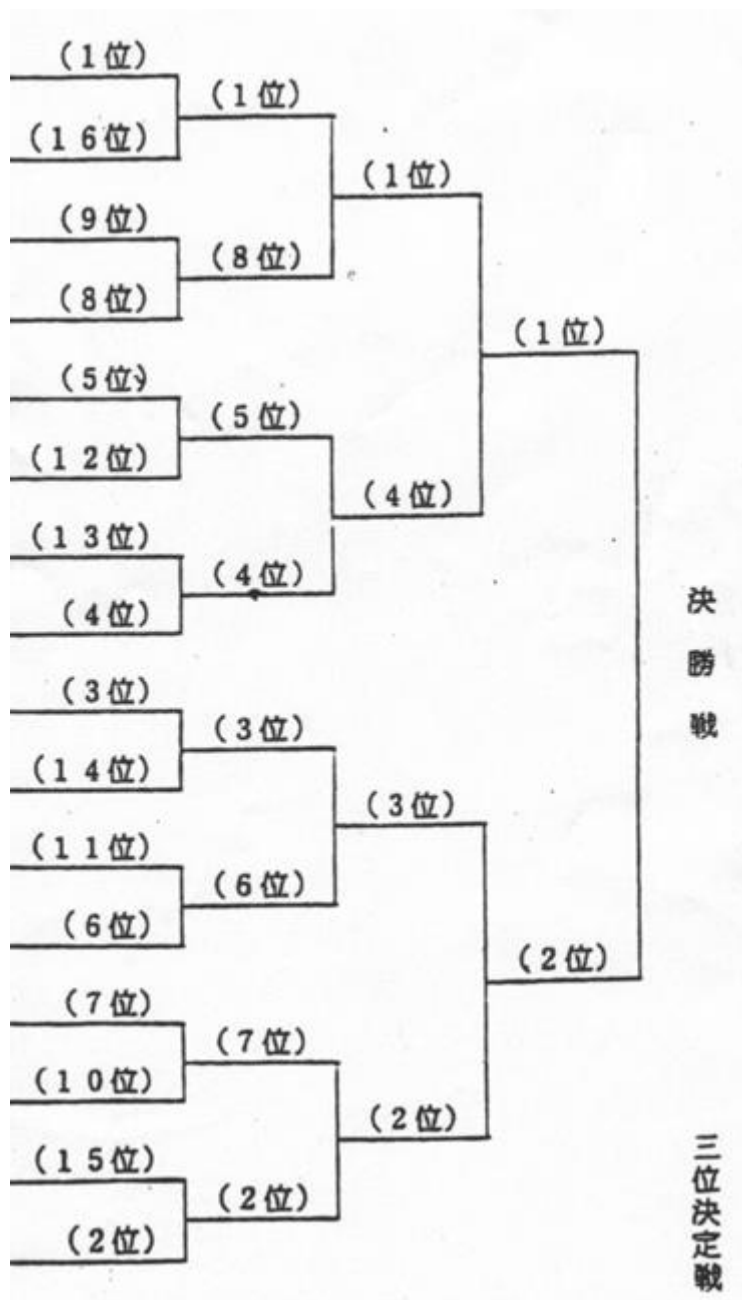
<アトラクション（決勝ラウンド）>

- ・ 決勝ラウンドは1対1のトーナメントで、男子16名、女子8名はトーナメント表に従って振り分けられる。
- ・ 予選順位決定において、同順位となった場合は、10点数・9点数の順に多い者が上位となる。ただし、男子16位・女子8位の選手が同点の場合は、1射40秒のシュートオフを行う。シュートオフは最高1回までとし、同点の場合は中心に近い矢の選手を上位とする。それでも決まらない場合は、中心に近い矢のシュートオフを決まるまで続ける。
- ・ シュートオフは縦三つ目的の真ん中の的に行射する。
- ・ 弓具破損による処理時間は15分間とする。
- ・ シューティングライン前方の位置に3mラインを設ける。
- ・ その他に関しては、全日本学生アーチェリー連盟競技規則に従って行う。
- ・ 1回戦、準々決勝、準決勝、3位決定戦においては、1セットにつき2分3射の一斉打ち、計4セット行うものとする。
- ・ 優勝決定戦では、3射4セットを1射20秒の交互射ちで行い、勝敗を決する。また、先行後攻は予選ラウンドの上位者が、第1セットの行射順序を決定し、次のセット以降、合計ポイントの低い競技者が先に行射する。両者が同点の場合は第1セット先射ちの競技者が先に行射する。
- ・ 1回戦、準々決勝、準決勝、3位決定戦において、点数が同点の場合は、制限時間40秒で、1射のシュートオフを最大1回まで行う。それでも勝敗が決定しない場合は、中心に近い矢の選手を勝利とする。この時、行射は同時に行われる。
- ・ 優勝決定戦においてポイントが同点の場合は、制限時間20秒で、1射のシュートオフを最大1回まで行う。それでも勝敗が決定しない場合は、中心に近い矢の選手を勝利とする。それでも決まらない場合は、中心に近い矢のシュートオフを決まるまで続ける。この時、行射は第1セットの競技順に交互に行われる。
- ・ 決勝ラウンドでは競技者の弓具破損による延長時間は与えられない。
- ・ シューティングライン前方の位置に3mラインを設ける。
- ・ その他に関しては全日本アーチェリー連盟競技規則に従って行う。

本大会ではコンパウンドボウの普及を図るため、男子決勝戦前にコンパウンドボウ対リカーブのエキシビジョンマッチをとり行う予定である。出場するリカーブの選手の選出については大会本部が決定する。

脚	立	名前	所属
1	A	蔦佑輔	北大
	B	西村悠汰	北大
	C	浅川聖也	室工
	D	松本宏太	室工
	E	安田洋平	北大
2	A	清水理一郎	北大
	B	中村祐人	北大
	C	渡辺俊樹	室工
	D	井上拓朗	室工
	E	樋口誠	北大
3	A	氷見谷馨	北大
	B	森明竜馬	北大
	C	小杉祥大	室工
	D	鈴木健太	室工
	E	小笠原宏輝	北大
4	A	小田原匠	北大
	B	清水孝通	北大
	C	田口将大	室工
	D	猪股航平	室工
	E	中山俊一	北大
5	A	助川太一	北大
	B	増富大樹	北大
	C	吉田春海	室工
	D		
	E	小林海太	北海
6	A	遠山隆奎	道科
	B	西本成輝	北海
	C		
	D		
	E	伊藤一樹(CP)	酪農

脚	立	名前	所属
7	A		
	B	吉村真美子	北大
	C	松山奈央	室工
	D	伊藤涼音	北大
	E		
8	A	山田和歌子	北大
	B	山田祐実	室工
	C	小野寺遙菜	北大
	D	高橋果歩	北大
	E	日下部美月	室工



・追記

- @アローには、必ず名前を明記してください。
- @予選ラウンドにおける、用具破損の修復時間は、15分とします。
- @センターロッドを床につける選手は、雑巾またはその代わりになるものを持参し、その上に置くようにして下さい。また、体育館に傷などつかないように、施設は綺麗に使用して下さい。
- @射場近辺は、食・喫煙は禁止です。喫煙は、専用スペースにてお願いいたします。
- @参加費は、一選手2500円となります。
- @競技規則を通読し、無用のトラブルは避けてください。
- @競技規則の変更により、弓具の破損が激しい場合は行射をとりやめ、別途昼休みに行射時間を取ります。